

KSPによる最近の館山局と三浦局の位置変動

観測結果

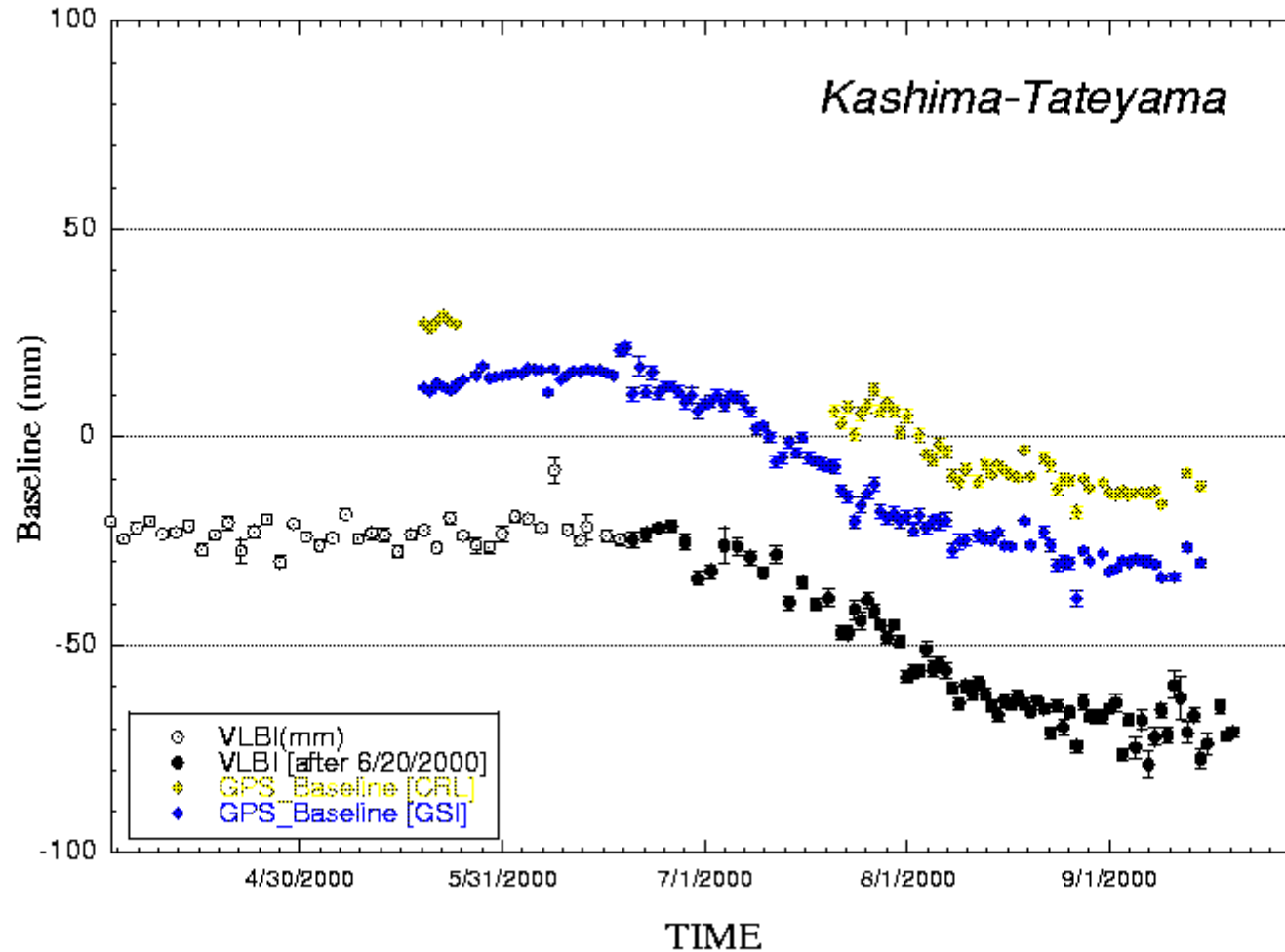
通信総合研究所鹿島宇宙通信センター宇宙電波応用研究室

小山泰弘、近藤哲朗、市川隆一、関戸衛

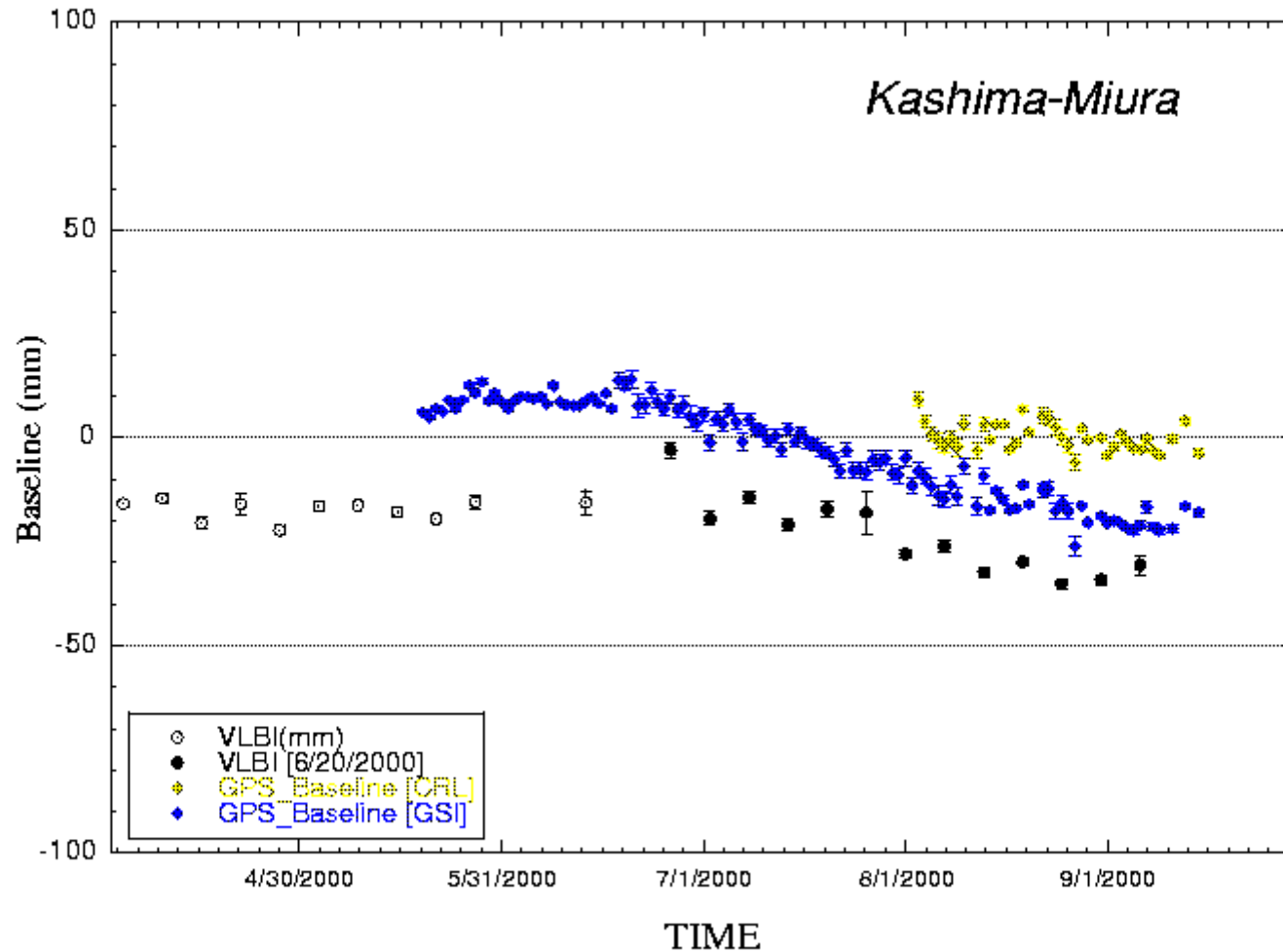
通信総合研究所第六研究チーム

吉野泰造、雨谷純、木内等

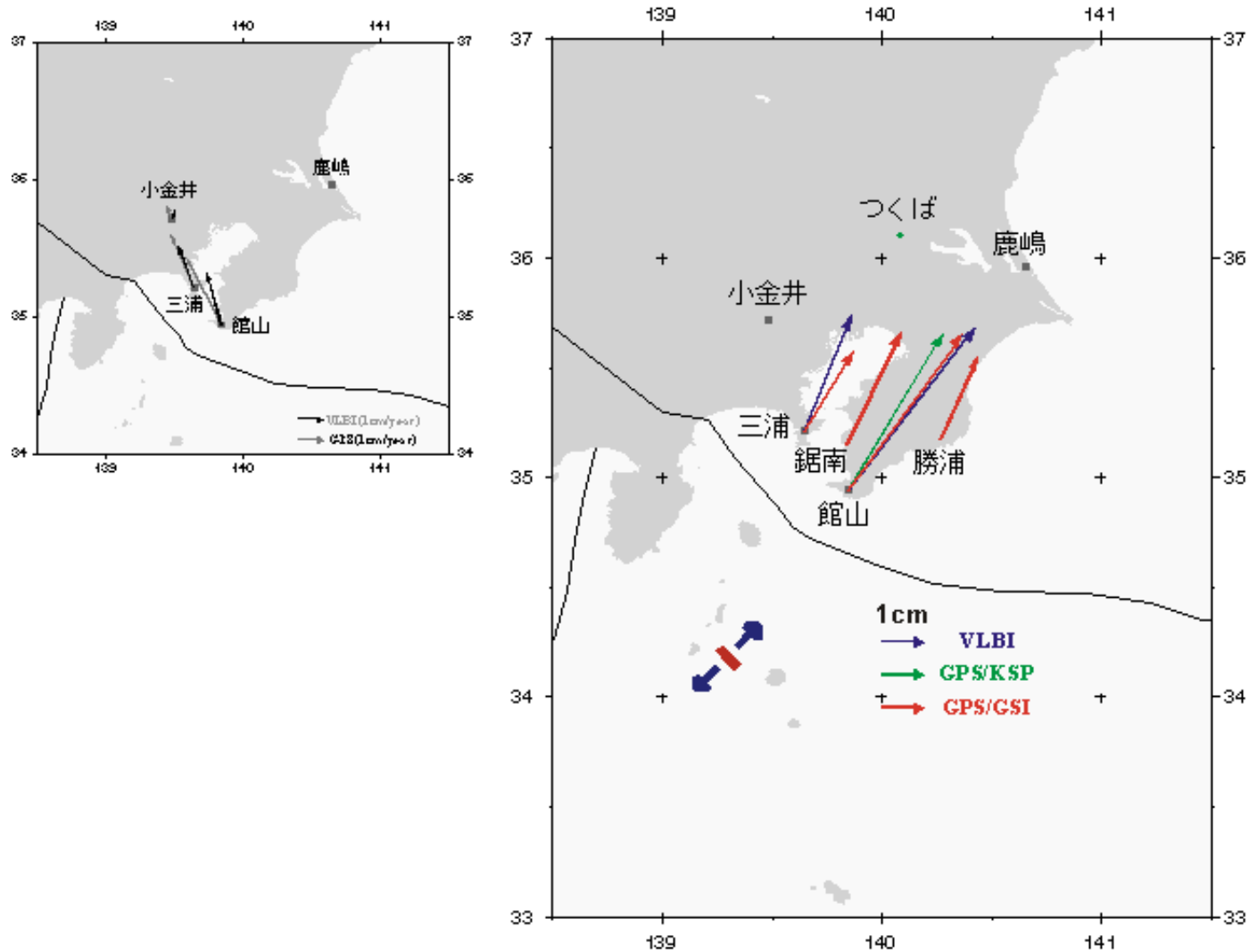
鹿嶋一館山の基線長変化



鹿嶋－三浦の基線長変化

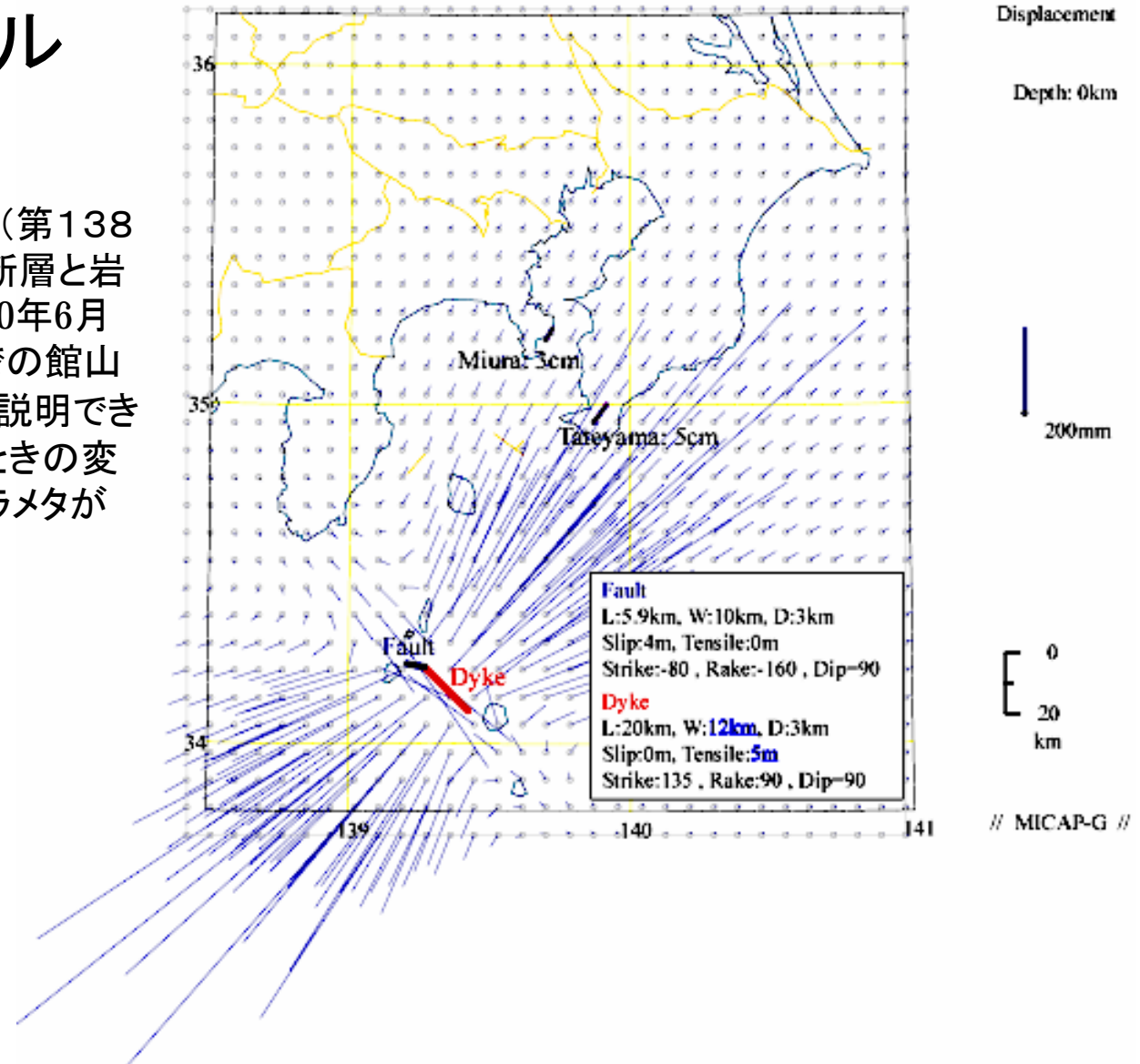


平常時の局速度と2000年7月以降の局速度

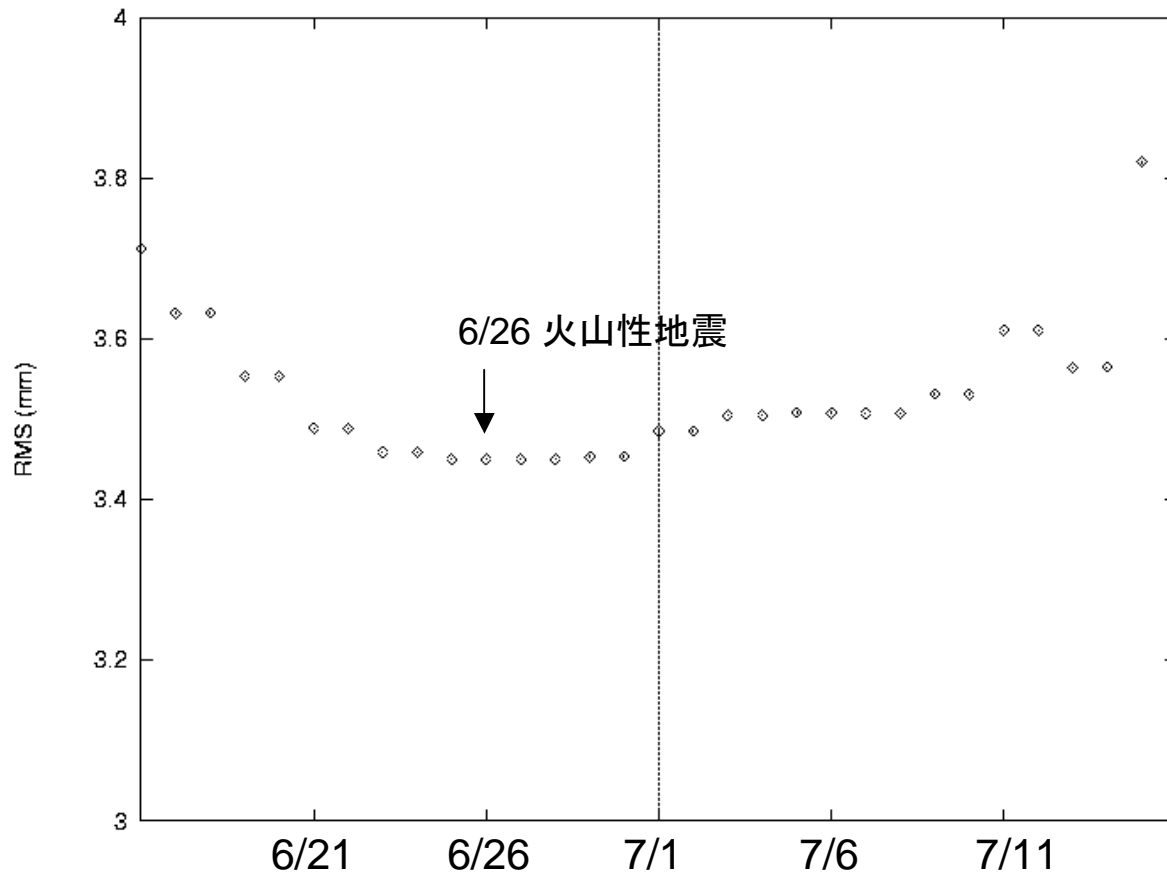


岩脈貫入モデル

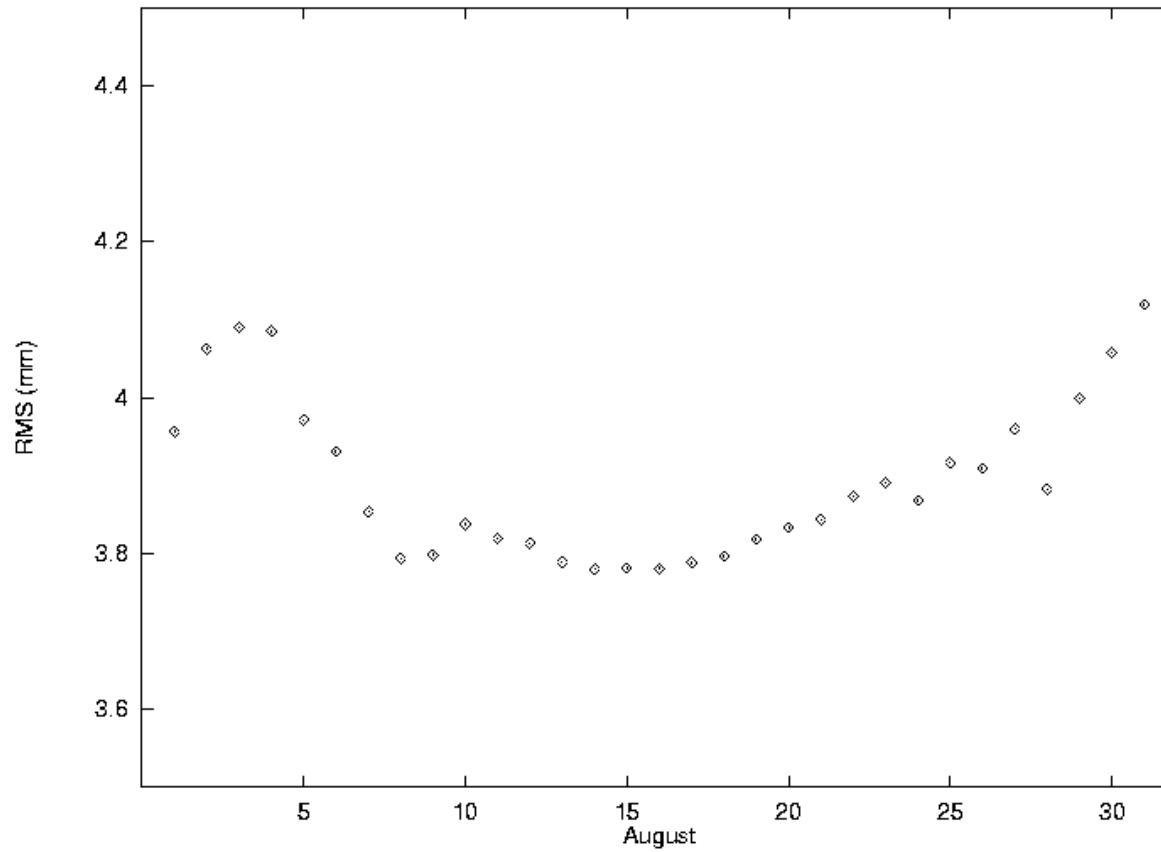
名古屋大学による解析結果(第138回地震予知連資料)にある断層と岩脈貫入モデルを使用し、2000年6月26日から9月15日に至るまでの館山局と三浦局の積算変位量を説明できるようにパラメタを修正したときの変位量分布。青字で示したパラメタが修正を行ったパラメタ。



鹿嶋一館山基線：偏曲点①の推定



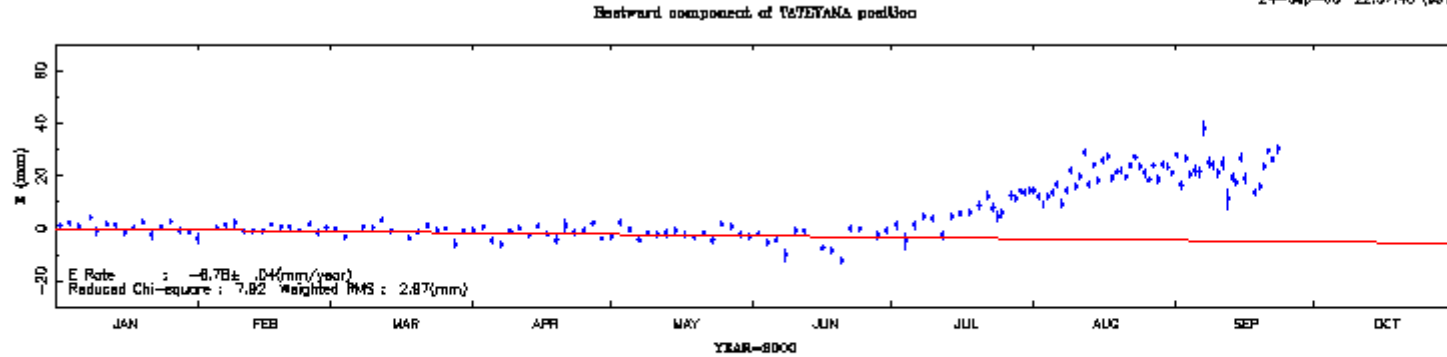
鹿嶋一館山基線：偏曲点②の推定



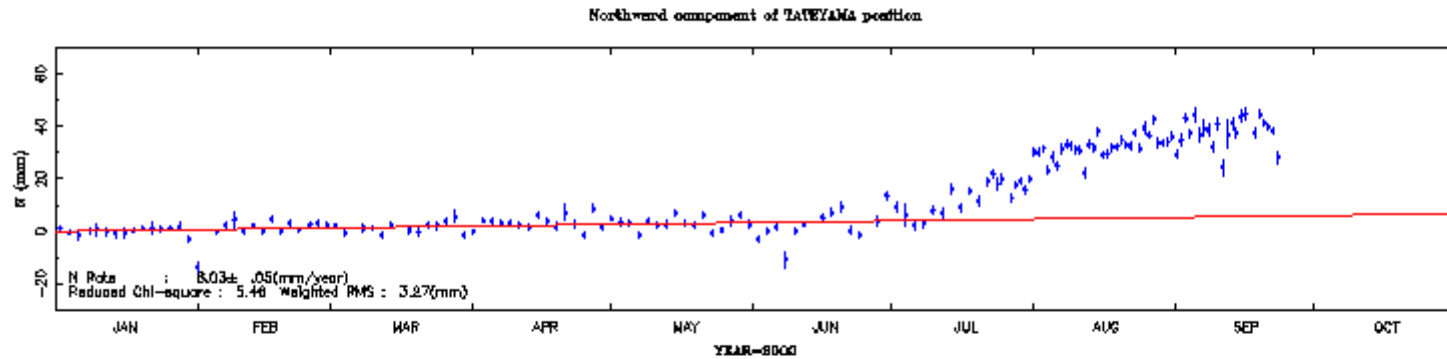
館山局位置(3成分)

24-Sep-00 22:57:48 (JST)

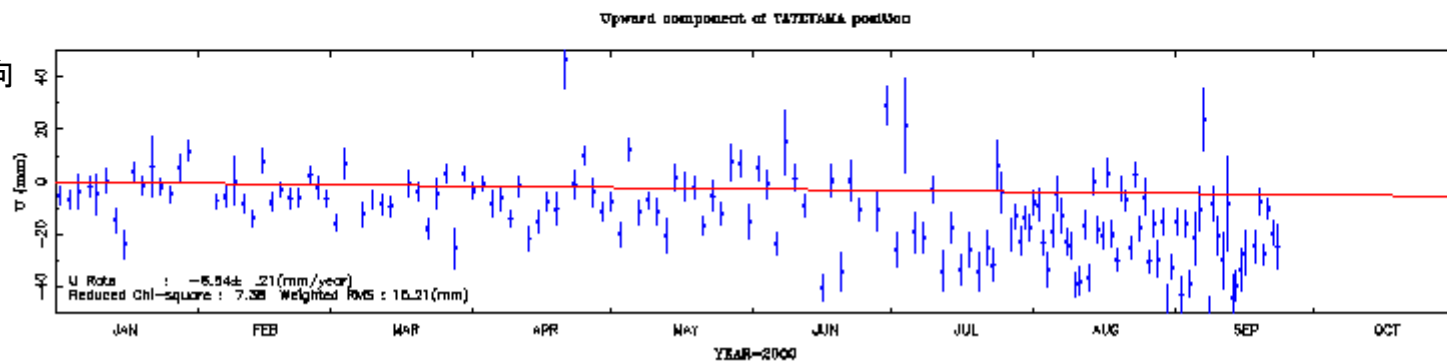
東方向



北方向



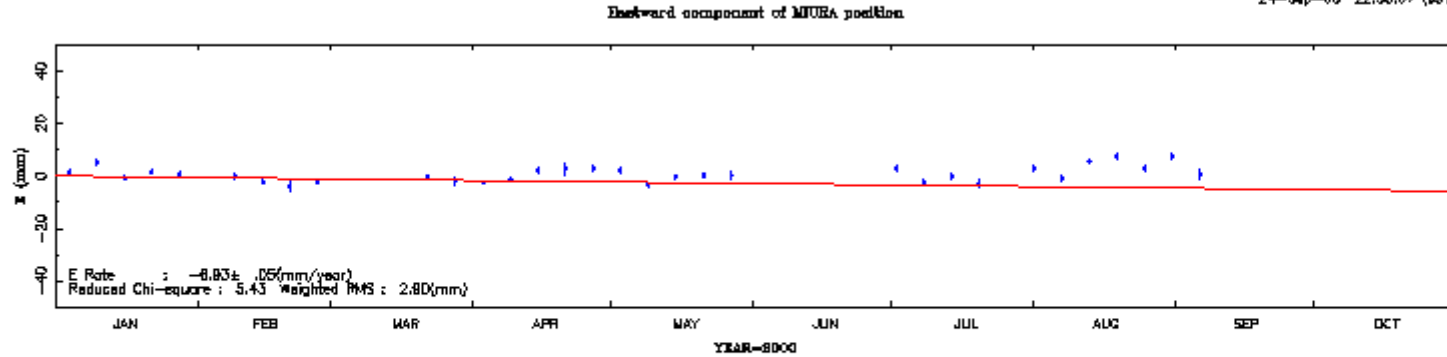
鉛直上方向



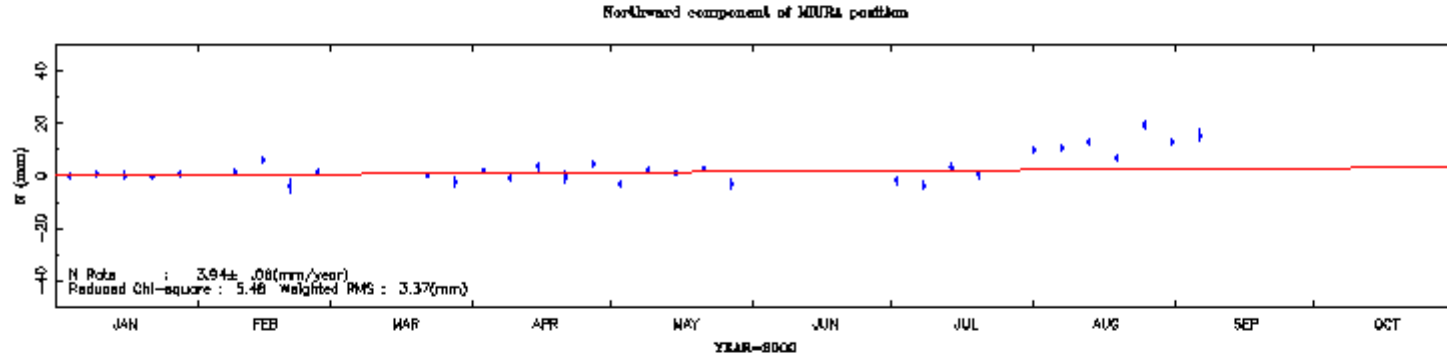
三浦局位置(3成分)

24-Sep-00 22:58:07 (JST)

東方向



北方向



鉛直上方向

